

第3学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「小さな自分」のお気に入り

【第3学年】A 表現(1)イ、B 鑑賞(1)ア、【共通事項】(1)ア、イ 造形遊び 鑑賞の活動

2 児童の実態と本単元の意図

(1)児童の実態

(略)

(2)教材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作編、第3学年 A 表現(1)イ、B 鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア、イに関することの造形遊びの内容である。「小さくなった自分」の視点から見て面白いと感じた場所を、身近な材料を使ってお気に入りの場所に作りかえていく活動を行う。子供たちの身近な場所を見つめ直し、形や色などの感じを捉えながら、新たな楽しさを生み出す力を育てることをねらいとしている。10cmから15cmの小さな自分を動かし、気に入った場所を見つけ、身近な材料を使ってお気に入りの場所に作りかえていく。小さな自分を動かし試行錯誤しながら作品作りを行うことで、場所のもつ新たなよさに気づき、自分の思いに合わせてさらによい場所につくりかえていくことを目指し授業を行っていく。

(3)指導について

題材の導入では、学校のある場所とその場所がどのように作り変わったのかが分かる具体例を提示する。教師のモデルを提示することで、自分の写真で作られた「小さな自分」のお気に入りの場所を作るという見通しを児童に持たせ、学習への意欲を高める。教師のモデルを提示する際には、「この飾りはゴツゴツしていて本物の岩のように見える」「この飾りはキラキラしていて本当に宇宙にいるみたいで不思議」など、作品がどのように見えるか、作品のよさを伝える表現を例示しながら進めることで、自分の考えたことや感じたことを言葉で表現する力を作品作りを通して育むようにしたい。

また、お気に入りの場所を決める際には、小さな自分とタブレットを持って体育館内を自由に探索し、気に入った場所を撮影していく。そして、撮影した写真をタブレット内の発表ソフト「メタモジークラブルーム」やペイントアプリを活用し、どの様に作り変えてみたいかを写真に書き込んでいく。このようなICTの活用により、児童が「どんなテーマを持っているのか」、「テーマの実現のためには何をつくるのか」といった自分の発想を実現するために必要な材料や、色や形を変えるなどの試行錯

誤をすることができるようになり、作品の完成へ向けて見通しをもって、取り組むことができるようにしていく。

活動の場面では、画用紙やはさみ、テープなど子供たちにとって身近な材料を使って実際にお気に入りの場所となるように作り変えていく。想像したものをただ作るのではなく、小さな自分を置いた時の正面からの見え方、斜めからの見え方など、材料を組み合わせることで、多角的な視点で作品作りができるようにする。

題材の終盤では、完成した作品の紹介カードを作成し、見つけた場所のよさを伝える表現という視点で書かせる。友達の作品を見合う中でも、色や形、見た目、手触りなど優れた表現に触れさせることによって、友達の作品をよりの確に言語化し、自分の作品のよさをさらに表現できるようにしていく。

本時では、題材の導入として、学習内容が確実に身に付くよう教師のモデルを見て、学習の進め方を自分で捉えられるようにする。その後、小さな自分とタブレット端末を持ち、体育館内を自由に動き回り気に入った場所を見つける。写真を撮影し、自分ならどんな工夫を加えていくか言葉や絵を描きこみながら、友達との意見交流を図り、1時間を通して場所の決定を行い、決定した場所をなぜ選んだのか、場所のよさをで言語化できるようにし、次の時間へとつなげていく。

体育館内には跳び箱やマット、カラーコーンなどを教師が予め配置しておき、小さな自分と周囲の物との大きさを比べたり、小さな自分の目線になって場所決めを行ったりする工夫を行い、学習を進めていく。

3 研究との関わり

気に入った場所をタブレットで撮影し、作品に対する児童一人一人の考えやイメージを、明確にする。

学習のゴールに向けて、学習の流れを見通すプログラミング的思考力を育成する。

4 目標及び評価規準

(1)題材の目標（※〔共通事項〕(1)ア、イはア____、イ_____で示す）

- 身近な場所を小さな自分のお気に入りの場所につくりかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。
- 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについての経験を活かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫する。 <知識及び技能>
- 形や色などの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。
- 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ、つくりたいこと、いろいろなつくり方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 <思考力、判断力、表現力>
- 進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。 <学びに向かう力、人間性等>

(2)題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所に作りかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じが分かっている。</p> <p>技 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについての経験を活かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫して作っている。</p>	<p>表 形や色などの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちが作りかえた場所の造形的なよさや面白さ、作りたいこと、いろいろな作り方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>態 作りだす喜びを味わい、進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所に作りかえる学習活動に取り組もうとしている。</p>

(3)評価計画及び評価方法（○：指導に生かす評価、◎：全員の学習状況を記録に残す評価）

観点	時	1	2	3	4	評価方法
知識・技能			◎	◎		行動観察・対話・表現
思考・判断・表現		◎			◎	行動観察・対話・記述
主体的に学習に取り組む態度		○	○	◎		行動観察・対話・表現

5 指導の評価の計画

時	学習活動	学習内容	評価規準
1 本 時	<p>・「小さな自分」がどこにいと面白いかを考えながら、お気に入りの場所を決定し、想像したことを言葉に表す。</p>	<p>○場所に合わせたイメージの持ち方</p>	<p>思・判・表 形や色などの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。</p>
2	<p>・「小さな自分」の視点見付けた場所やそこにあるものを、生かしながら、思い付いたことを工夫して表す。</p>	<p>○小さな自分の視点で見付けた場所をお気に入りの場所に作り変える。</p>	<p>技能 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについての経験を活かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手</p>

			や体全体を十分に働かせ、活動を工夫している。
3	<ul style="list-style-type: none"> • どのように見えるか、また、見せたいかを周りの様子や飾りを考え、工夫して表す。 	○「小さな自分」を置き、より楽しい場所になるように作りかえる。	<p>知識</p> <p>身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所に作りかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。</p> <p>態度</p> <p>進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> • 友人と互いの作品を見合いながら、色々な表し方について感じ取ったり、見方、感じ方を広げたりして、表現のよさを味わう。 	○お気に入りの場所から感じたことや気付いたことを交流する。	<p>思・判・表</p> <p>形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ、つくりたいこと、いろいろなつくり方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p>

6 本時の学習指導（1 / 4）

（1）本時のねらい

- 形や色などの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもち、どのように活動するかについて考える。
<思考力、判断力、表現力>

（2）本時の展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点（配慮・手立て）◎評価 ★ICTの活用〔共〕共通事項に関わる内容
1 本時の課題を知り、学習の見通しをもつ。		○教師がモデルを提示し、学習の見通しを持たせる。「小さな自分のお気に入りの場所を見つけよう」と、小さな自分の写真を渡して、制作意欲を喚起する。
課題 「小さな自分」になって、面白そうな場所を探そう		★活動場所は体育館であること、タブレット端末で写真を撮影し、お気に入りの場所を決めることが本時のゴールであることを確認する。

<p>2 「小さな自分」の目線で体育館内を動き回り、お気に入りの場所を見つける。</p> <p><体育館内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口 ・ドア ・窓 ・壁面 <p><体育館に置かれた物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱 ・マット ・平均台 ・ボール <p>3 決めた場所について、クラスの中で意見交流をする。</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋みたいになりたい ・高いところから遊ぶ感じにしたい ・隠れている感じにしたい <p>4 選んだ場所が、より楽しい場所になるようにアイデアを膨らませる</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モールで飾りを付けよう ・飛んでいる感じにしよう <p>5 本時の学習の振り返りを行う。</p>	<p>○場所に合わせたイメージの持ち方</p>	<p>○児童の制作意欲を喚起するため、体育館内には、跳び箱やマットなどを出しておく。</p> <p>○活動中の安全の確保のため、ステージには上がらないこと、体育倉庫や体育館の外は使わないことを伝える。</p> <p>★場所が決まった児童には、ペイントのアプリでどのような飾りで作り変えたら面白いか考えさせる。</p> <p>◎形や色などの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもち、どのように活動するか考えている。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現) 【行動観察・発言】</p> <p><努力を要する児童への手立て></p> <p>○なかなか場所を決めることができない児童には、どの場所が気になっているかを聞き、目線を変えさせたり、同じ場所で撮影している友達の写真を見るように促し、場所の決定ができるよう支援を行う。</p> <p>★大型提示装置に児童が撮影した写真を提示し、なぜその場所にしたのか、どのように作り変えようと思っているのか発表させ、意見交流を図る。</p> <p>○自分や他の児童の作品からどのようなイメージを持つかを話し合い、よさを認め合えるようにする。〔共〕</p> <p>○身近な材料を使って、お気に入りの場所を面白くするような飾りを1つか2つ作るよう撮影した写真にアイデアを書き加えていく。</p> <p>○アイデアを書き加えていくことで、どんな材料が必要かを考える。</p> <p>○本時の自分の学びがどうであったかや、気付いたことについて振り返らせる。また、次時はアイデアを基に作品作りをしていくことを伝える。</p>
---	-------------------------	---

7 板書計画

(1) 板書計画

「小さな自分」のお気に入り

「小さな自分」になってお気に入りの場所を見つけよう

- 1 小さな自分に出会う。
- 2 小さな自分と体育館をたんけん
- 3 気に入った場所の写真をとる
 - ・どんなところが気に入ったか
- 4 友達の写真をみよう
- 5 アイデアを考える

じかいにむけて

- 小さな自分を目立たせるかざり
1つ～2つ
どんな道具がひつようか

ワークシート

「小さな自分」のお気に入り①	3年1組 番 名前
題名（今、考えているアイデアで名前をつけるなら…）	
(1) この場所に決めた理由（この場所のいいところ）	
(2) 「こんなものをおいてみよう！」のアイデアを書こう	
(3) ふりかえり	